

音楽



目標



表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

学習の内容



1年	2年	3年	4年	5年	6年
歌って 踊って なかよくなろう	音楽でみんなと つながろう	音楽で心を つなげよう	言葉で心の輪を 広げよう	歌声を響かせて 心をつなげよう	歌声を響かせて 心をつなげよう
拍を感じ取ろう	拍のまとまりを 感じ取ろう	歌って音の高さ を感じ取ろう	歌声のひびきを 感じ取ろう	音の重なりを 感じ取ろう	いろいろな音色 を感じ取ろう
はくについて リズムをうたう	ドレミであそぼう	リコーダーの響 きを感じ取ろう	いろいろなリス ムを感じ取ろう	いろいろな音色 を感じ取ろう	旋律の特徴を生 かし表現しよう
身の回りの音に 耳をすまそう	生活の中にある 音を楽しもう	拍についてリス ムを感じ取ろう	地域に伝わる音 楽に親しもう	和音の移り変わ りを感じ取ろう	いろいろな和音の 響きを感じ取ろう
ドレミと 仲良くなろう	リズムを重ねて 楽しもう	旋律の特徴を 感じ取ろう	旋律の特長を 感じ取ろう	曲想の変化を 感じ取ろう	曲想の変化を 感じ取ろう
旋律で呼びかけ 合おう	繰り返しをみつ けよう	曲のかんじを 生かそう	旋律の重なりを 感じ取ろう	詩と音楽の関わ りを味わおう	詩と音楽の関わ りを味わおう
楽器と 仲良くなろう	いろいろな楽器 の音をさがそう	いろいろな音の 響きを感じ取ろう	いろいろな音の 響きを感じ取ろう	日本の音楽に 親しもう	日本や世界の 音楽に親しもう
様子を思い うかべよう	様子を思い うかべよう	地域に伝わる音 楽でつながろう	日本の音楽で つながろう	思いを表現に 生かそう	音楽で思いを 伝えよう
にほんのうたを たのしもう	日本のうたで つながろう	音の重なりを感 じて合わせよう	曲の気分を 感じ取ろう		
みんなで合わせ て楽しもう	みんなで合わせ て楽しもう				
歌いつこう日本の歌(世代を越えて歌い継いでいきたい日本の歌)					
みんなで楽しく(各校の実態に応じて扱うことができる教材)					

授業の工夫



♪ 子供たちがいろいろな音楽と出会い、友達と楽しく関わり合いながら、思いを込めて表現することができるように学びがつながるように授業の工夫をしています。

低学年

音楽との出会い

中学年

友達と共に音楽を表現する

高学年

音楽で思いを伝える

歌唱

身体的表現での活動、歌詞の内容や自分の思いを伝えるために声の出し方発音などの技能を高める。

器楽

子供たちが主体的に学習をすすめられるように、ワンポイントアドバイスやヒントを示す。

音楽づくり

作品例や様々なアイデアを例示し、思考・判断しながら、進んで学習に取り組めるようにする。

鑑賞

聴くめあてを明確にし、聴き取り、感じ取ったことを友達と共有し、意見の交流を通して、より深く音楽を理解できるようにする。

評価について



音楽科では次の3つの観点で評価します。

【知識及び技能】

♪ 音楽に対する興味・関心 をもち、進んで音楽活動を
楽しみ歌声や楽器演奏など技能を積もうとしている。

【思考力・判断力・表現力】

♪ 曲の気分や音楽を特徴づけている要素を感じ取り、
それらを生かして表現や鑑賞の工夫をしている。

【学びに向かう力】

♪ 音楽を通して自ら向上心を高めようとしている。

評価の方法

発言や発表の様子、課題への取り組み方、演奏、ワークやプリント、自己評価、相互評価、テストなどを総合して評価します。

保護者の方へ

- ♪ 鍵盤ハーモニカやリコーダーの指使いを覚え、美しい音が出せるようになるには、繰り返しの練習が必要になります。家庭での練習を宿題に出すこともあります。楽器の練習を聴いて、励ましの声掛け、一緒に喜び合うなど更なるやる気をもたせてあげてください。
- ♪ 鍵盤ハーモニカ、リコーダー（3年生以上）のケースの中に、つばを拭いたりするためのガーゼやハンカチを入れてください。
- ♪ 日常生活の中で様々な音楽に親しみ、興味や関心をもち音楽を楽しむことは、豊かな心を耕すことにつながります。

